

平成23年度 市民協働のまちづくりフォーラム
「絆からはじまる防災力～地域にできること～」 アンケート集計結果

日時：平成24年1月22日（日） 13:00～16:00

場所：本郷生涯学習センター（にいたかホール及び多目的ホール）

参加人数：230人

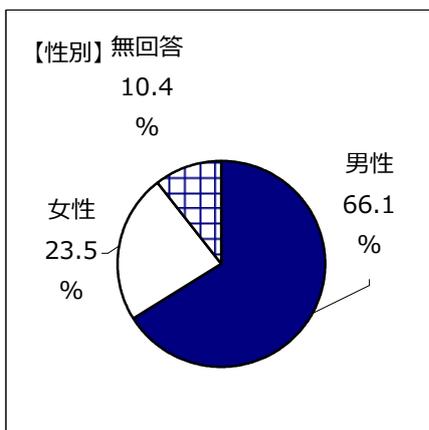
アンケート回収人数：115人

アンケート回答率 50.0%

問1 あなたのことについて伺います。

① 性別

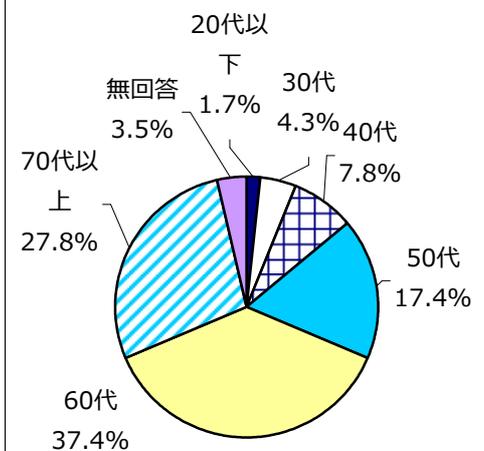
男性	76
女性	27
無回答	12
合計	115



② 年代

20代以下	2
30代	5
40代	9
50代	20
60代	43
70代以上	32
無回答	4
合計	115

【年代】



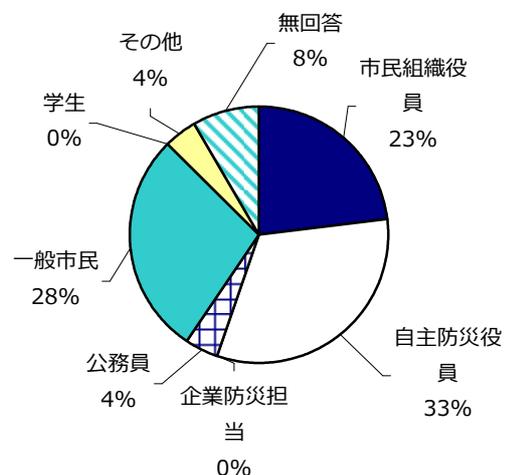
③ 所属団体等（複数回答者あり）

市民組織役員	28
自主防災組織役員	39
企業防災担当	0
公務員	5
一般市民	34
学生	0
その他	5
無回答	10
合計	121

その他の内容

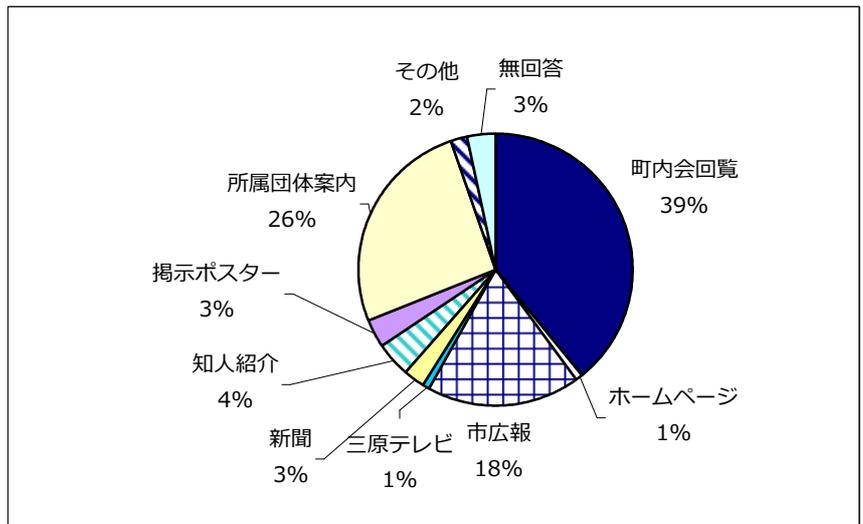
ボランティア
消防団員

【所属団体】



問2 このフォーラムをお知りになったきっかけは何ですか。（複数回答あり）

町内会回覧板	58
ホームページ	1
市広報	27
三原テレビ	1
新聞	4
知人紹介	6
掲示ポスター	5
所属団体案内	38
その他	3
無回答	5
合計	148



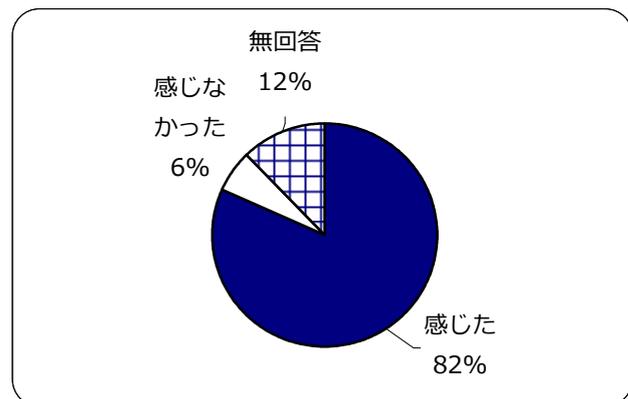
その他の内容

まちづくり推進協議委員
自治会役員からの案内
チラシ

問3 参加された公演の感想を伺います。※お手数ですが理由も合わせてご記入ください。

① 基調講演に参加されて、地域の絆の必要性を感じましたか。

感じた	94
感じなかった	7
無回答	14
合計	115



【感じた】回答者の理由

- ・ 共助が一番大事な絆である事を再確認した。向こう三軒両隣を大事にしたい。
- ・ 遠くの親戚より近くの他人。向こう三軒両隣。
- ・ 日ごろの防災会で向こう三軒両隣の話をしているが改めて必要と感じた。いつ起こるかかわからない災害に対していつでも対応できる組織力、絆の必要性。
- ・ 3.11から非常事態にそなえる心を強く感じた。
- ・ 正常化の偏見（明日は我が身）自助、共助、公助を理解し向こう三軒両隣の復活。
- ・ まず絆は家族から強めたい。
- ・ 楽しく学ばせて頂く中にも参考になりました。
- ・ 自分一人では災害時には何も出来ない。みんなの協力が必要な事。

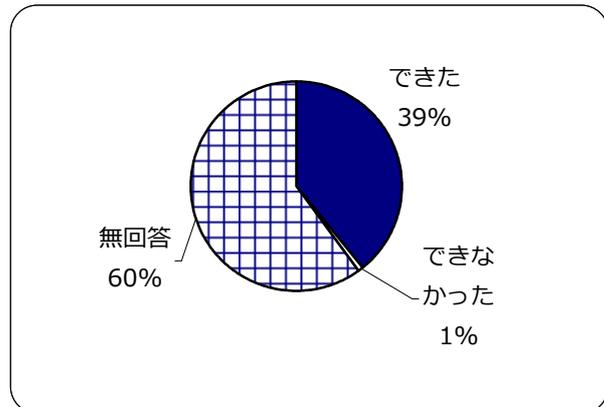
【感じなかった】回答者の理由

- ・ 災害の具体的な話がなかった。
- ・ 自分は体力的にもまだあると自力で身を守ることが出来ると思うから。
- ・ 内容がバクゼンとしていた。もう少し深く掘り下げて欲しい。
- ・ 講演内容の趣旨が分からなかった。

② 第1分科会「備後の自然災害」に参加されて、三原市で起こりうる自然災害を知る事が出来ましたか。

できた	45
できなかった	1
無回答	69
合計	115

※無回答数が多いのは第2分科会参加者も回答数に含まれているため。



【できた】回答者の理由

- ・非常に科学的、論理的に話をされたから説得力があった。
- ・南海地震が迫っている事を勉強できました。
- ・知っているようで知らないことばかり。もっと身近に感じなくては。
- ・専門性もありとても参考になった。広島県特有の生きた話であった。良くわかった。
- ・備後地域の地質等被害が起こる原因等が良くわかった。
- ・予想される三原の災害をくわしく教えていただいた。
- ・災害は洪水だけだと思っていた。
- ・花崗岩が非常にもろいものと知りました。
- ・非常に解り易く恐さを感じました。改めて地域との行動の大切さを見直さねば！
- ・理論的な説明と映像でわかりやすく恐怖が起こってきた。液状化の被害の大きさに驚いた。

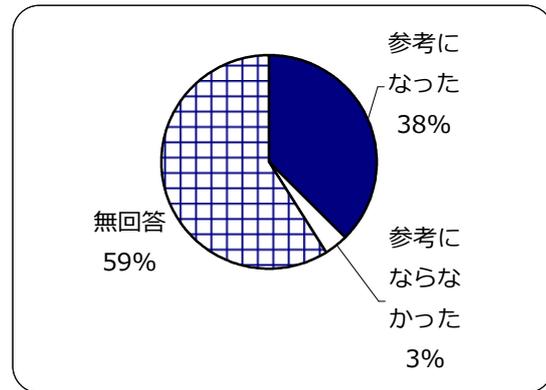
【できなかった】回答者の理由

- ・次の行事があり参加できませんでした。残念です。

③ 第2分科会「地域につながる防災」に参加されて、地域の防災力向上に向けた取り組みの参考になりましたか。

参考になった	42
参考にならなかった	2
無回答	71
合計	115

※無回答数が多いのは第1分科会参加者も回答数に含まれているため。



【参考になった】回答者の理由

- ・絆が大切な事が分かった。
- ・何かあったらすぐ逃げる。その事ははずかしい事ではないと気付いた。
- ・東北大震災の話が参考になった。
- ・向こう三軒両隣 57年ぶりに聞く言葉でした。
- ・被災地の状況，ボランティア状況，参考になった。
- ・現実に即した課題でありました。ありがとうございました。
- ・日頃の地域住民同士の気かけ合いが改めて大切だと感じた。ほんのわずかな力でちょっとした困り事は解決する。その間つなぎが日頃の交流だと思った。
- ・一人ではできない。繋がり作りの大切さ。
- ・災害救助の8割は住民同士の助け合いだということ。自分にもできるということ。
- ・地域ですべき事が分かった。スライドの内容が印刷されていれば活用できる。

【参考にならなかった】回答者の理由

- ・まだ自主防災について理解ができていない。
- ・会場が別なので一緒にして欲しい。
- ・地域ですべきことに対する説明が少なかった。資料配布がない。

問4 フォーラムに連携して開催する連続講座について、現時点での参加を伺います。

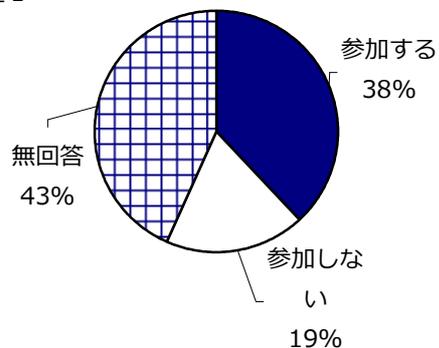
① 防災マップ作成研修

参加する	43
参加しない	23
無回答	49
合計	115

参加しない理由

- ・他の行事と重複して参加できない

講座1



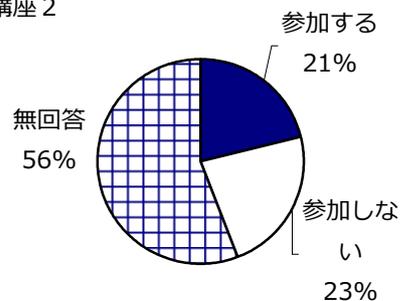
② 小さいのちを守るナチュラル防災

参加する	24
参加しない	28
無回答	63
合計	115

参加しない理由

- ・他の行事と重複して参加できない

講座2



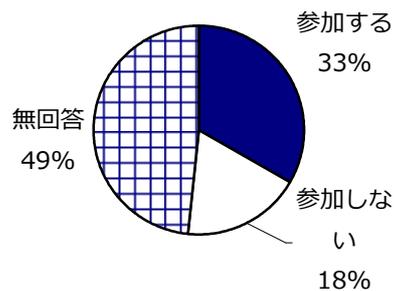
③ 東日本大震災の被災地取材して

参加する	38
参加しない	22
無回答	55
合計	115

参加しない理由

- ・他の行事と重複して参加できない

講座3



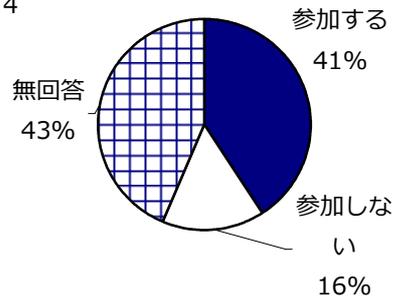
④ 家族を守る「防災体験」

参加する	47
参加しない	18
無回答	50
合計	115

参加しない理由

- ・他の行事と重複して参加できない

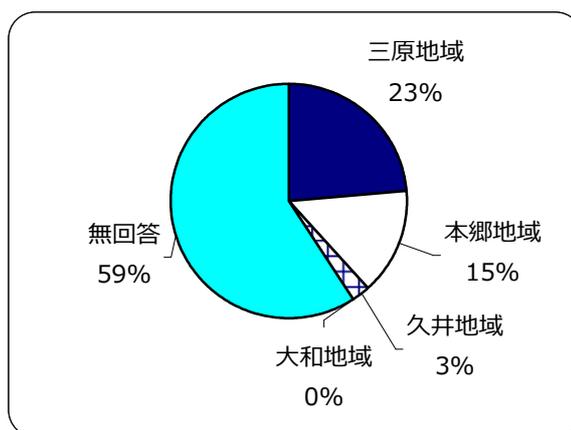
講座4



問5 今後、開催する防災研修会等の案内を希望される方は、住所及び氏名等をご記入ください。
随時、チラシ等でご案内させていただきます。

115名中47名から回答がありました。

三原地域	27
本郷地域	17
久井地域	3
大和地域	0
無回答	68
合計	115



問6 ご感想、ご意見などありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・広島県は災害が多く起こる可能性があることを知りました。
- ・参加して良かったと思います。地域の防災をまじめに考えようと思います。
- ・子供向けの防災教室を細かめにしていただきたいです。支援団体として協力させていただきます。
- ・この時期学習会や行事が多いので参加が少ないようだ。特に男子駅伝の日であるので町内会からの参加は少ない。来年度は南方21町内会を集めて澤田先生の話聞かせる！
- ・基調講演の講師の選定にはもう少し勉強する必要がある。参加者が少ないのは行政、又消防団、自主防災会などここに問題があるか分析が必要では！自主防災と町内会組織を考えるべきではと思います。
- ・他の行事と重ならないよう開催日程の調整をお願いいたします。
- ・大変良い講演でした。演歌まで聴けて楽しい時間でした。ありがとうございました。
- ・基調講演は大変良かった。このようなビデオを防災会へ貸し出しを行えば意識が高まると思います。第1分科会も非常に良かった。東北大震災を見本として考える必要がある。液状化についても考える必要あり。対策⇒逃げるのはどこへ？やることはたくさんあり。
- ・本郷地区は液状化になりやすいとわかり大変こわいと思いました。心のどこかで自分の生きている時代にはないだろうと思っている私があります。考えを改めなければ・・・。
- ・地震と土砂災害の特性について解説いただき参考になりました。
- ・講演会場としては大変よい設備、建物で音響効果も良かった。駐車場も広く参加しやすい。お世話の方々が好感が持てました。
- ・地域に自主防災組織がない。今回初めて参加しこれから災害について充分考えて行きたい。
- ・公演資料（P.P）を配付して欲しい。
- ・町内で支え合いネットワークを作る活動をしております。今日の講座を聴き改めて頑張っていきたいと感じた。むりのない範囲で色々な人たちの考えを尊重しながら進めていきたい。ありがとうございました。
- ・（案）若い人を集める企画を考えてみてはどうでしょうか？若者に人気のある人を講師に呼び防災を語ってもらう等。
- ・私の地域では防災意識がまだうすいと感じています。いろいろな手法を使って少しでも意識が高まるように思っています。今後参考になる講座をお願いします。

連続講座1「防災マップ作成研修」

日時：平成24年2月5日（日） 13:30～16:00

場所：ゆめきゅりあセンター（多目的ホール）

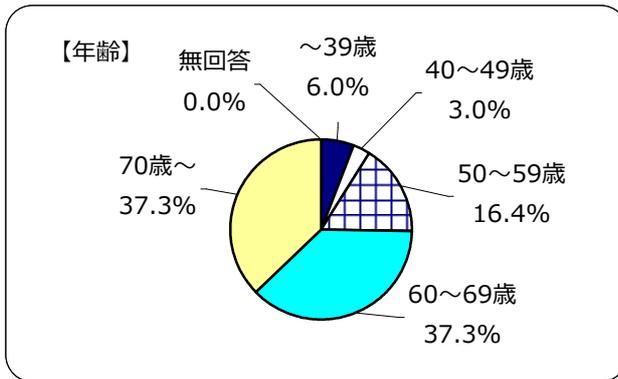
参加人数：70人

アンケート回収人数：67人

アンケート回答率 95.7%

問1 年齢について、該当する欄に○を記入してください。

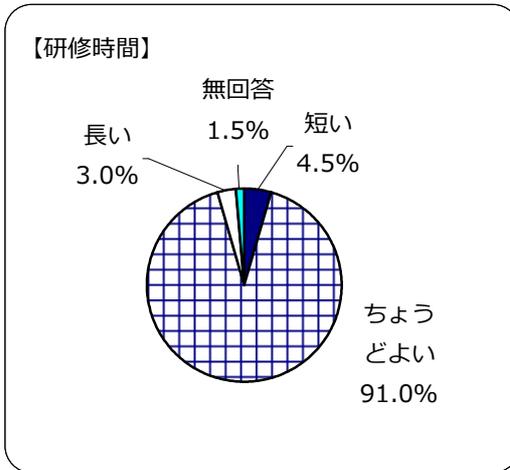
～39歳	4
40～49歳	2
50～59歳	11
60～69歳	25
70歳～	25
無回答	0
合計	67



問2 研修の時間、項目について、該当する欄に○を記入してください。

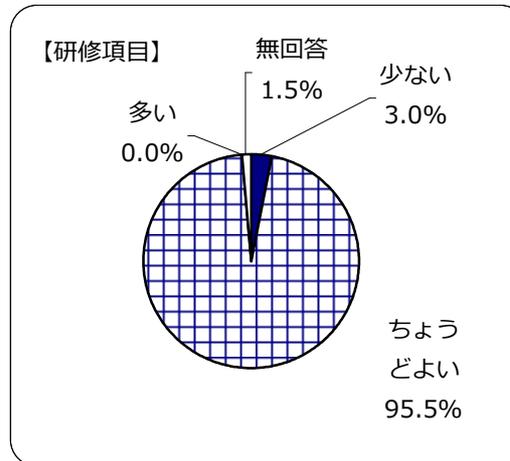
研修時間

短い	3
ちょうどよい	61
長い	2
無回答	1
合計	67



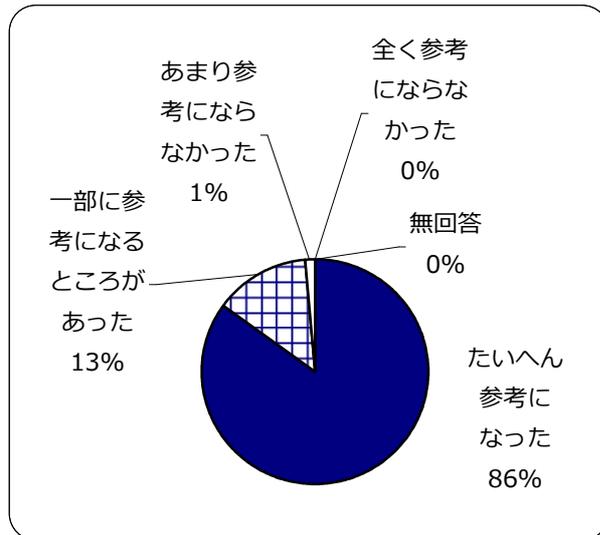
研修項目

少ない	2
ちょうどよい	64
多い	0
無回答	1
合計	67



問3 研修全般について、該当するものに○を記入してください。

たいへん参考になった	57
一部に参考になるところがあった	9
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	0
合計	67



問4 その他（感想等を自由に記入してください）

防災マップ作成をどのようにしたら良いか分かった。家に帰って、防災マップを作り、いつ災害があっても、自分の命が助かるようにしたいと思った。小学校でも実際にやって、クラスでも考えてみたいと思った。また、どこかでこのような活動をしてほしいです。

改めて防災を考える良いきっかけになりました。自分の住んでいる地域でも防災マップが作れば良いなと思いました。

家に帰っても防災マップを作りたいです。それに、作成の仕方も分かったのでよかったです。

地域の防災マップ作りに活用したいと思います。

防災と言えば防災訓練となっている。防災訓練と言えば避難、消火、炊き出しとなっている。被害軽減等に力を入れる必要がある。

マップ作りをゆっくりやってみたい。

非常に有効な良い体験をさせて頂きました。ありがとうございました。

減災にもっと取り組みます。各家庭での減災の取り組みを要請します。

今まで関心がなかったが、三原にも多くの危険な場所があるのには、びっくりした。早速帰って、地域の防災マップの作成をしたいと思う。

防災マップなど更にグレードアップした次のパートもあれば良いと思います。

白地図（地区毎）のサイズのものであれば、今後利用させていただきたい。

自宅の現在地がよく解り、心の準備をしておくことがどれだけ大切か、よく知る事ができた。

今すぐどうすれば良いか、皆さんと仲良くしておく事が大切か、声の掛け合い、自分がその時どこにいれば良いか、町内の皆さんにお願いしておかなければと思います。

地域の災害がないと無関心に思っていました。身を守る心がまえとして一番大切である事がよくわかります。こんなに詳しく指導してもらい参考になりました。男性の方が色分けをして下さいましたが直接見たり聞いたりして大変良かったです。

後日、再度研修願います。

改めて水路とか大きい道、小さい道どこにいけば良いか大変わかりやすく、ためになりました。ありがとうございます。

自主防災活動の継続性が難しいと感じます。

今回の東日本大震災は、どの地方でもあり得ることであることを改めて知りました。三原市の防災マップを作成しましたが、安全な地域はほとんどなくて驚きました。日頃の防災意識がいかに大切かを学びました。

作成しながらいかに危険なところが多いかを知りました。今回は自分地域ではなかったのですが、学んだことを活かして地域で活動できたらと思いました。今回は有難うございました。

三原を見なおすいい機会になった。三原は危ない。

これを参考に地震の怖さを思い知らされ、避難場所も考えておかないと、つくづく思い。ありがとうございました。

限られた参加した人には有効と思われる。同上にて作成したフリーハンドのハザードマップを地域住民全体に配布が非常に困難（行政が発行のハザードマップは細かい部分まで記載されていない）⇒地域住民に配布出来る詳細ハザードマップの作図要領を教えてください。

災害図示の訓練については、今回二度目であるので避難場所をどこにしたら良いのか要領を得ることができた。しかし地元住民は、災害についての認識度は非常に薄く全く危機感がない。人事の様に感じられます。この意識改革をどのように進めるかが大きな課題である。消防署などの協力を頂きながら、自治会中心に推し進めなければならない。

このような研修を各地で行ってほしい。行政との関わりを強くして、行政と協力することでもっと災害に対して関心が高まる。

災害マップの作成方法等を今まで経験がなくどんなものか全くわからなかったが今回の研修を受けてよく理解することができたと思います。今後の活動に活かし実践をしていきたいと思います。

研修を受けてよく理解することができ、大変参考になりました。

どの様にして参加者を集めるか、市の方でなにかの方法、指導の立案をしないと地域でのまとめはできない。

地域ごとに分かれてマップを作ったら詳しくできたのではないかと思います。参考になりました。

地図を3枚重ねて危ない所、安全な所、どこへ避難すればいいかを改めて考えさせられました。防災意識を高めたいと思います。

初めてなのですが参考になるでしょう。

大変良かったです。

準備等完璧でありがとうございます。

資料の文字が小さく読みにくい箇所があった。津波のエネルギーについて高潮、高波との違いをしっかりと市民に理解できるように認識できるように講習とか資料に実施してもらいたい。

他人事でなくいつ起こるか分からない事で普段からすぐ動けるように心がけることの大切さが、身にしみて感じました。

このような訓練は数多くして大勢の方に体験させてもらい防災意識の向上に役立ててほしいです。

地域の危険度が良く判った。自分なりに対策を取りたいと思う。地域グループで検討するには地区を区分別して大きいので検討すればもっとよく判ったと思う。

とても解り易く地域でしっかり活用していきたいと思います。

楽しくできました。

本郷地区でも今回のような研修会を開催してほしい。

ありがとう御座いました。

もう少し丁寧に作業したかった。

寒かった。防災・減災のDVD等の（住民への啓発活動 訓練時）に用いるためのビデオの入手方法がほしい。（あっせんしてほしい）

連続講座2「小さいのちを守るナチュラル防災」

日時：平成24年2月25日（土） 13:30～16:00

場所：ペアシティ西館 大会議室

参加人数：39人

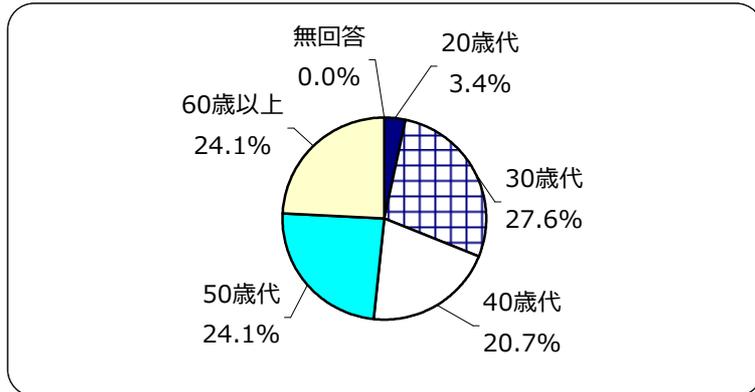
アンケート回収人数：29人

アンケート回答率 74.4%

問1 年齢について、該当する欄に○を記入してください。

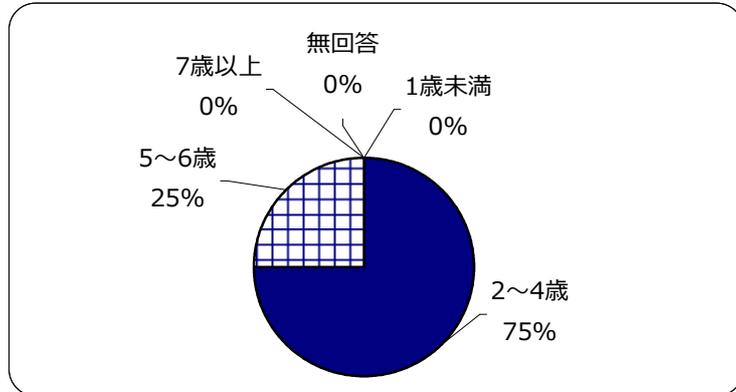
参加者本人

20歳代	1
30歳代	8
40歳代	6
50歳代	7
60歳以上	7
無回答	0
合計	29



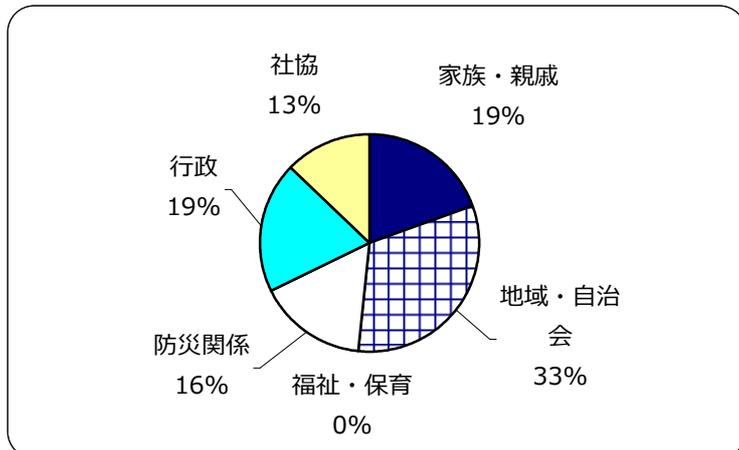
一緒に参加された子どもさんの年齢について。（複数回答あり）

1歳未満	0
2～4歳	3
5～6歳	1
7歳以上	0
無回答	0
合計	4



あなたについて該当する欄について○をしてください。（複数回答あり）

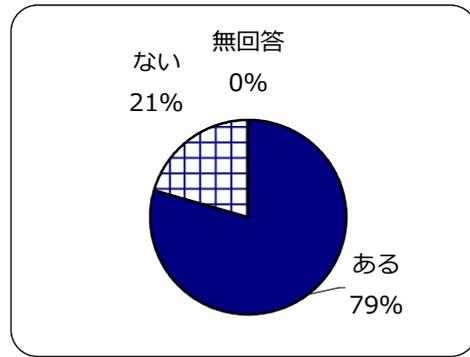
家族・親戚	6
地域・自治会	10
福祉・保育	0
防災関係	5
行政	6
社協	4
合計	31



問2 過去に訓練・講座・講演会について該当する欄に○を記入してください。(複数回答あり)

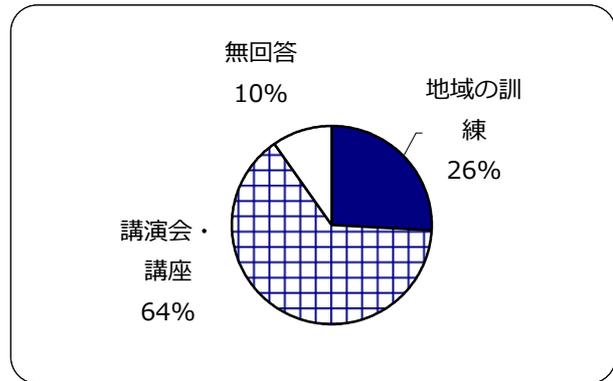
防災講座や訓練等に参加したことがありますか。

ある	23
ない	6
無回答	0
合計	29



あると答えた方のみお答えください。(複数回答あり)

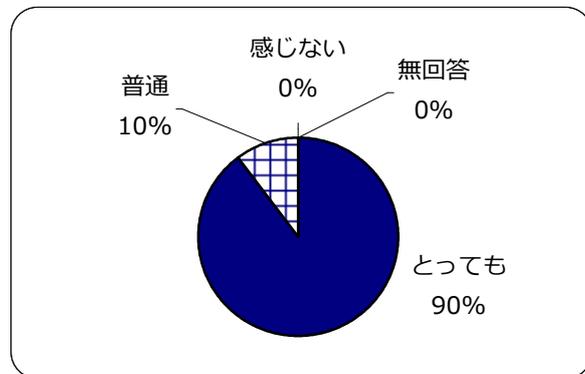
地域の訓練	8
講演会・講座	20
無回答	3
合計	31



問3 今日の講座について該当する欄に○を記入してください。

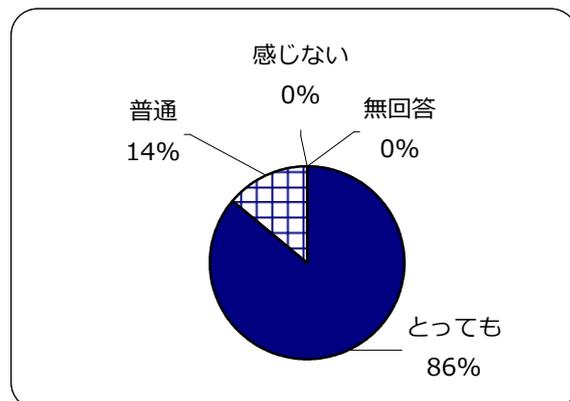
防災について重要と感じた

とっても	26
普通	3
感じない	0
無回答	0
合計	29



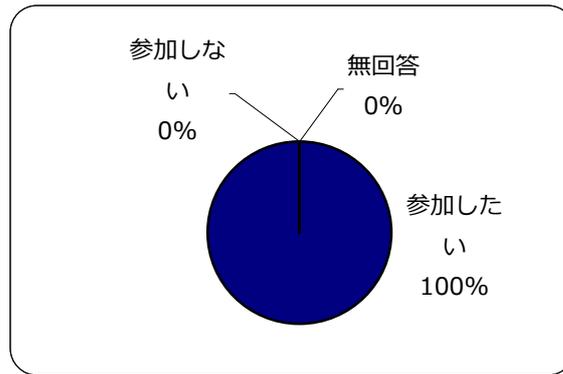
地域とのつながりを重要と感じた

とっても	25
普通	4
感じない	0
無回答	0
合計	29



問4 このような講座にはこれからも参加希望ありますか？該当するものに○を記入してください。

参加したい	29
参加しない	0
無回答	0
合計	29



問5 その他（感想を自由に記入してください）

大変良かった。多くの方の参加があると良かったのになと思いました。

具体的で分かりやすい話で良かったです。

あんどろさんのお話は非常にためになりました。応用というよりも、形にとらわれ過ぎていた自分に気付いた。グッズはあっても活用意義を知らないと宝のもちぐされになるのだと思った。しかし、ハザードマップや避難場所を知っていても今ひとつ見方などが分からない。町内会等で避難場所ツアーとかあっても良いと思う。三原でも3歳までに限らず、子どもがいる家庭に（せめて幼稚園、小学校低学年の家に）は母子推進員の人の訪問を希望します。又、子どもがいる親でも災害時にボランティアで援助できることがあれば教えて欲しいです。

とても分かりやすかったです。定期的にもたお聞きしたいです。

コンパクトな乾電池、アドバイスとてもためになり人の起こし方一つでも私の頭に入り家族に伝える参考になり良かった。

この辺は津波なんて絶対来ないという人がたくさんいます。先日の聖心保育園の親御さん達もそうだったようにあまりの関心のなさに正直びっくりです。もっとみんな意識してると思っていました。

こういった講座を通して、地域の繋がりを再確認するシステム作りができれば良いなと思います。一番の問題はこういった講座に来られない人が多いことでしょう。来ない人は単に知識を得られないだけでなく、地域の問題の再確認が出来なかったり、地域の現状を理解できないためです。とはいうものの、各地域の人々はそれぞれ個々人で用事もあるでしょうし、難しいのも理解できます。せめて、地域の繋がりの中心となる人達が、この講座を聞いてそれを地域に広げていけるような仕組みがうまく動けばなあと改めて思いました。もう一つは「継続すること」が大切なのですね。

自主防災活動の中で、赤ちゃんを含む母子に対する視点が抜けていることを痛感しました。

目から鱗の話が多く、今までの常識では通用しない事が分かり良かったです。

正直、地域の方から行くように…と言われ、何も分からず参加したのですが、知らなかった事ばかりで、今日お話を聞いて良かったです。オムツ換えシートなど捨てようかな…と思っていたけど、育児道具が防災道具として使える事が分かり、今、子育て中の友達にも教えてあげようと思いました。

本郷のような、母推さんとの繋がりも三原もしていただきたい。

4歳の子供の母で、もしもの時、どう子供を守って逃げれば良いかと考え、不安だったので、是非参加したいと思っておりましたが、当日、子どもの体調が突然悪くなり遅れました。最初の方の話が聞けなかったのが残念です。是非又、こういう講座を設けていただければと思います。

支援者として参加していますが、今日の講座はとても参考になりました。準備してあげる事より一緒に参加して考えて体験してもらおう事の大切さ。又、普段の生活の中で常に実施しておくことの大切さが充分にわかりました。若い人達には是非伝えたいと思いました。

保育園、幼稚園、子育てサロン、児童館との共催行事に合わせる等、工夫が必要。ママ達が出やすい午前中に計画すること。申込みをする方が、参加者の意識も違う事を講師からアドバイスいただいた。必要と思う。

防災グッズを揃えること、有事の行動などに思いが集中していましたが、防災に強い町、そして家、それから人というように全体的に意識しないといけないのだと思いました。個人として、物の仕組みを知ること、防災だけでなくいろいろな場面で必要な事だと思いました。

全ての参加ではなかったが、大変分かりやすく、話し言葉も身近なお母さん仲間の延長線だったので、多くの「へえ〜」や、「そうなんだ！」がスッキリと参加者の意識に入ったと思う。残念な事だが、地震に毎日怯えている（というか、慣れっこになってしまったらしい）関東の送り手と、滅多になく、ちょっとした揺れにもあたふたしてしまう中国地方の受け手ではその温度差がどう説明しても埋めきれないもどかしさを痛感する。日頃から、様々な機会を捉えて「いま、起こったら…！」を小出しにでも、拡散していかねばと、改めて感じた。又、講座を聞きたい。

防災部署にいるが、色々な観点から見る必要を改めて感じた。LEDライトの事など、単1電池は不要、単3にダンボールを巻いて単1にするなど。また、着合わせ方など参考になった。アウトドア視点と言うよりは、一つ一つの事を何で必要なのか？本当にいるのか？代用はできるか？本来の機能を発揮しているのか？等、検証することや、普段生活から防災へ取り入れる自然な流れを学習することができた。

身の回りの何気ない物でもその仕組みを知っておくことで、いざという時に応用できるという点にとっても興味を感じました。

講師の方がとてもパワフルでした。参考になる防災知識がたくさん聞けました。笛、LEDライト他、防災グッズを買い揃えようと思います。もっと多勢の人に聞いて欲しいと思いました。

やはり、子供を守る命を守るって、つきつめて考えなければ、いざ！！という時に役立たないのだと痛感いたしました。目から鱗の話しが聞けてとても充実した半日でした。ありがとうございました。

連続講座3「東日本大震災の被災地を取材して」

日時：平成24年3月18日（日） 13:30～16:00

場所：ゆめきやりあセンター（多目的ホール）

参加人数：51人

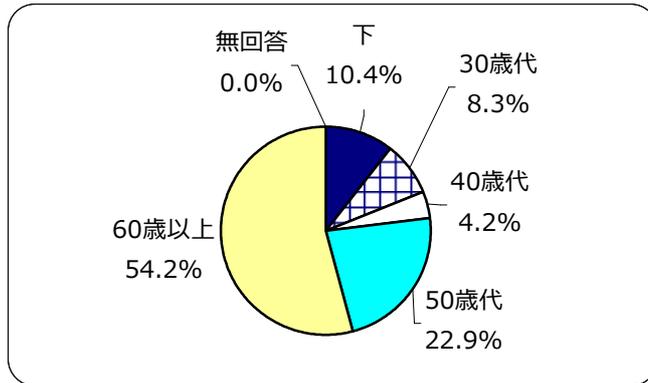
アンケート回収人数：48人

アンケート回答率 94.1%

問1 あなたのことについて伺います。該当する欄に○を記入してください。

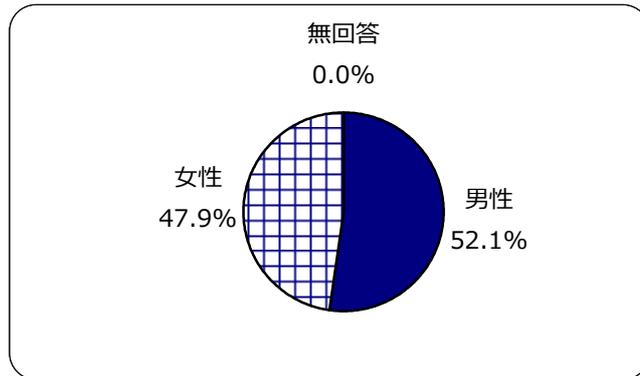
年齢

20歳代以下	5
30歳代	4
40歳代	2
50歳代	11
60歳以上	26
無回答	0
合計	48



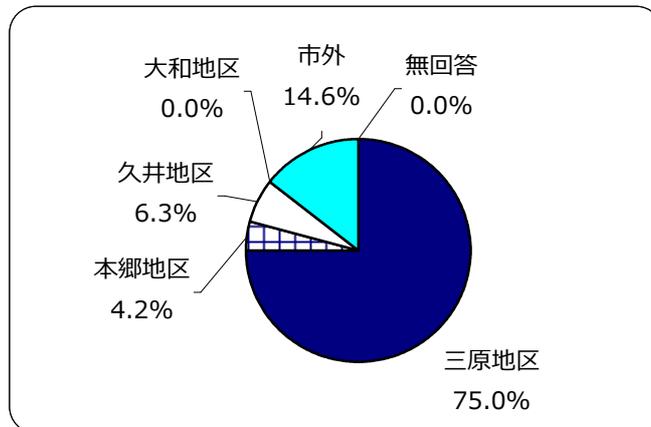
性別

男性	25
女性	23
無回答	0
合計	48



お住まいの地域

三原地区	36
本郷地区	2
久井地区	3
大和地区	0
市外	7
無回答	0
合計	48



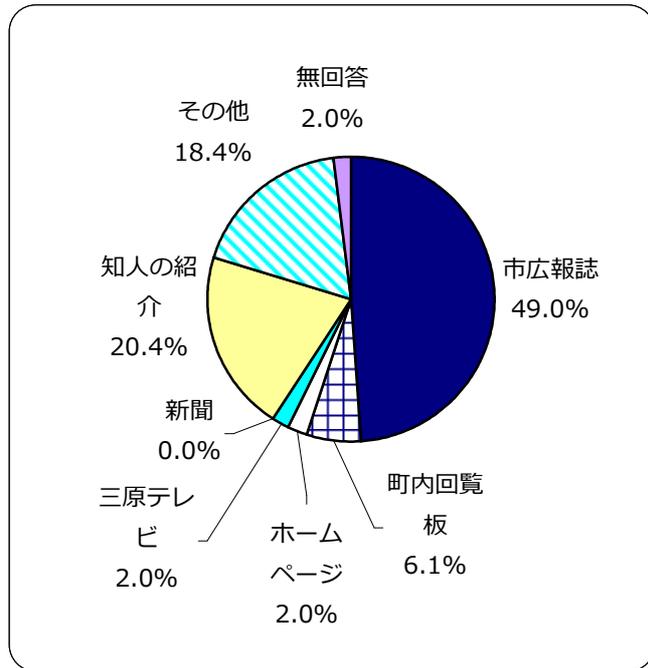
問2 本日の講座について伺います。該当する欄に○を記入してください。

① 本日の講座をお知りになったきっかけは何ですか。（複数回答あり）

市広報誌	24
町内回覧板	3
ホームページ	1
三原テレビ	1
新聞	0
知人の紹介	10
その他	9
無回答	1
合計	49

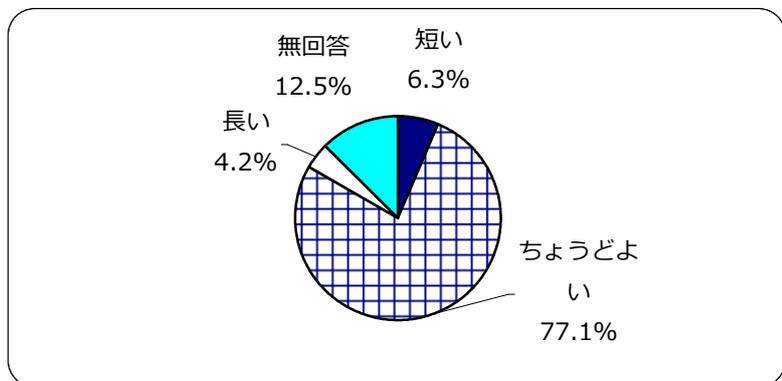
その他の意見

- ・講演者の先生からのご紹介
- ・中尾さんご本人から
- ・危機管理室より



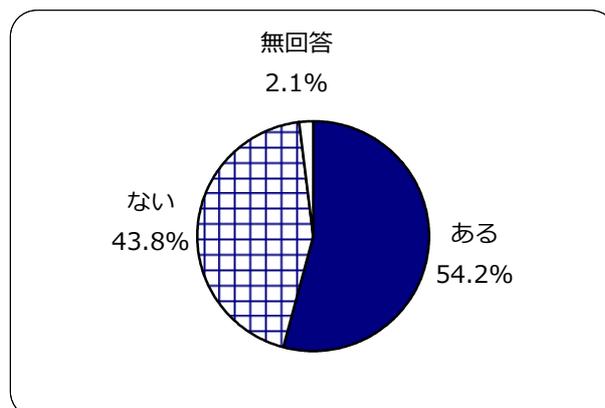
② 講演の時間

短い	3
ちょうどよい	37
長い	2
無回答	6
合計	48



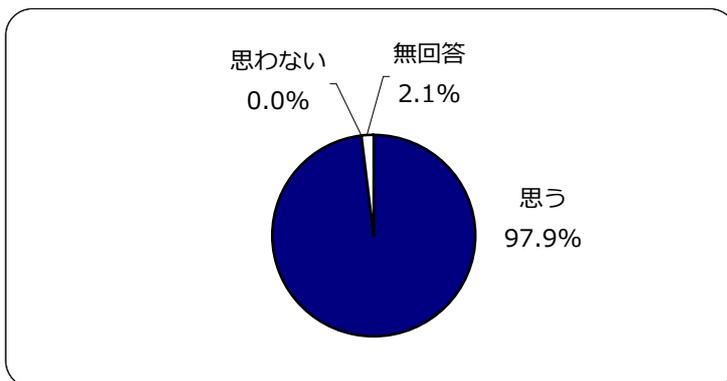
③ 過去に本日のような講座に参加されたことがありますか。

ある	26
ない	21
無回答	1
合計	48



④ 機会があれば、今後の防災講座等にも参加したいと思われませんか。

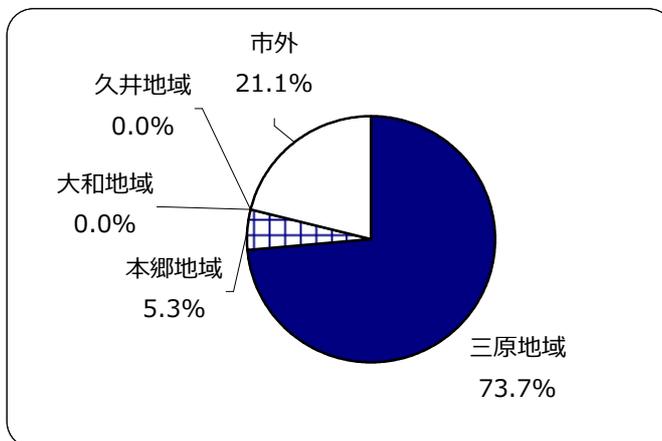
思う	47
思わない	0
無回答	1
合計	48



問3 今後、開催する防災講座等の案内を希望される方は、住所及び氏名等をご記入ください

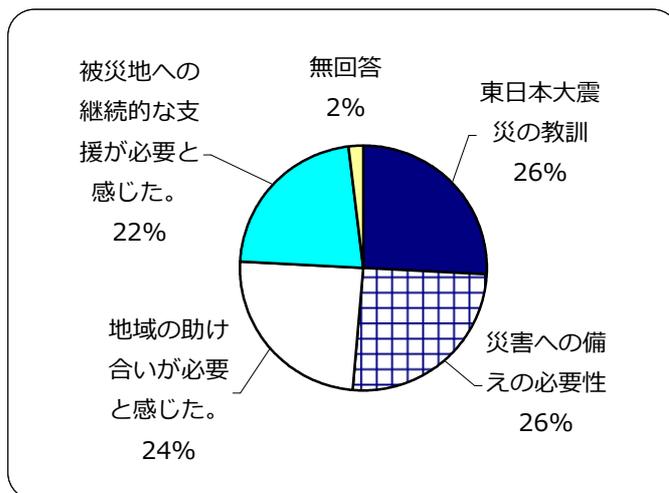
19名の方が記入されました。

三原地域	14
本郷地域	1
久井地域	0
大和地域	0
市外	4
合計	19



問4 本日の講座を受けて強く感じられたことについて、該当するものに○を記入してください。※複数可

東日本大震災の教訓を忘れてはいけない、語り継いでいくべきと感じた。	37
災害への備えの必要性を感じ、できるところからでも家庭や地域で行動したいと感じた。	37
地域の助け合いが必要と感じた。	35
被災地への継続的な支援が必要と感じた。	32
無回答	3
合計	144



その他、ご意見など自由にご記入ください。

引き続き色々な場所での細かい講座をお願いします。

寄り添うことの大切さ、身に染みて感じました。絶望に寄り添う希望に一人ひとりになれるようになっていったらいいなと思いました。

生の声の重さを感じた。

広島長崎の原子爆弾後60数年過ぎても忘れられない事が今では忘れられようとしている事と同じ事が大震災と同じ事が言えると思う。沈没日本にならなければ良いが…。

今後三原市の津波に対する考え方を早く示して欲しい。

講師の中尾記者の暖かい人柄が伝わってくる内容でした。ありがとうございます。

大変私にとって有意義な時間でした。ありがとうございます。中尾さん東北にいても「みんなの家」忘れないで！体に気をつけて頑張ってください。

寄り添うという事を改めて考えさせられました。また今後の震災の支援のあり方、自分には何ができるかを考えていきます。

震災の有無にかかわらず孤独老人が増えている、心の支えが必要だと思う。人間、自然と共に生存しているので災害は否定できない。ただそれに伴う人災（原発）は絶対に防がなければならない。又災害を最小限に抑える準備を普段から行っていく必要を感じる。市民全員の意識の向上が必要と思う。

参加者の中には「まあ寝てりゃええんよ」「アンケートは書かんでもよかる」などと公言はばからぬ方がいたが、まずは参加してもらうことでよしとするのか…なかなか意識付けは難しいと感じる。市民の意識向上は様々な分野で共通の課題である。

いろいろな分野でいろいろな形で支援をされている方のお話を伺えたのが良かった。グループになって意見交換できたのが良かった。

貴重なお話を聴くことができました。

寄り添う事大切さ、そばにいますよ、地域で力を合わせ。本日は来させて下さりありがとうございました。いつか起きる災害があることを気付き、心しなければと思いました。

地域の方とつながる事、そのために顔の見えるつながりをはじめたいと思いました。「地域に何人知り合いがいるかが防災教室」

今回の講演会に来て大変有意義な時間を送ることができました。

今被災地で一番大きな問題はガレキの処理だと思うが、三原市ではどのように考えているのでしょうか？

中尾様、転勤されるとの事。元気で大活躍される事楽しみにしています。

“寄り添う”ということは同じ立場に立ちずっと忘れない事が大切だという事を強く考えさせられました。貴重な機会をありがとうございました。

被災地への継続的な支援が必要である。